

## 第6次知多市総合計画審議会〔第8回〕

【日 時】令和元年11月12日（火） 午前10時～12時

【場 所】知多市役所3階協議会室

### 【出席者】

会 長 吉村輝彦 日本福祉大学 国際福祉開発学部 学部長・教授  
副会長 入江容子 愛知大学 法学部 教授  
生田祐江 市民ワークショップ「未来にツナグ会議」参加者  
市野 恵 特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた 代表理事  
片山麻有 愛知県男女共同参画人材育成セミナー修了者  
河村康英 社会福祉法人 知多市社会福祉協議会 地域福祉課長  
久野美奈子 特定非営利活動法人 起業支援ネット 代表理事  
近藤通哉 株式会社 日本政策金融公庫 国民生活事業部 信越地区統轄  
榊原秀敏 あいち知多農業協同組合 営農部 知多営農センター長  
高山博好 環境省 環境カウンセラー  
竹内徳得 知多市観光協会 副会長  
富田敬子 市民ワークショップ「未来にツナグ会議」参加者  
水内智英 名古屋芸術大学 芸術学部 准教授 国際交流センター長  
峯神亜由美 知多メディアスネットワーク株式会社  
営業部 集合・法人グループ グループリーダー  
吉川佳代 知多市社会教育委員  
(事務局)

### 【欠席者】

竹内栄道 知多市商工会 監事  
長倉剛士 日本労働組合総連合会 愛知県連合会 知多地域協議会 代表  
西尾和男 知多市コミュニティ連絡協議会 会長  
野尻紀恵 日本福祉大学 社会福祉学部 教授  
松本幸正 名城大学 理工学部 教授

【傍聴者】 9名

### 【議事次第】

- 1 会長あいさつ
- 2 議題
  - (1) 第6次知多市総合計画（案）について
  - (2) 概要版について
  - (3) 計画推進について

- 3 答申
- 4 その他

## 【会議の概要】

### 1 会長あいさつ

[事務局]

事務局の企画情報課長、細川です。

毎回、お願いしていることですが、今回も記録のための写真撮影を行いますので、よろしくお願いいたします。また、後ほど、本日の会議の様子について、知多メディアスによる取材が入り、後日メディアスエリアニュースで放送予定とのことですので、ご承知おきください。

なお、本日の会議におきましては、日本労働組合総連合会 愛知県連合会 知多地域協議会 代表 長倉剛士委員、知多市コミュニティ連絡協議会 会長 西尾和男委員、日本福祉大学 社会福祉学部 教授 野尻紀恵委員、名城大学 理工学部 教授 松本幸正委員から欠席のご連絡をいただいています。また、他にも到着されていない委員がいらっしゃいますが、定刻になりましたので、始めさせていただきます。

現在の出席者は14名で、定足数に達していることをご報告します。

それでは、会長、よろしくお願いいたします。

[吉村会長]

皆さん、おはようございます。

長い期間議論をし、最終回を迎えました。これまでの議論では、ありがとうございます。最終回ですので、最後の仕上げをしていきたいと思えます。

それでは、ただいまから、第8回知多市総合計画審議会を開催します。委員の皆さんには、大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

振り返ってみれば、本審議会は昨年5月に設置され、今日が8回目の会議となり、最後となります。

前回の審議会では、これまでの議論を取りまとめた総合計画全体の案をお示ししました。それを基に、全体を通じた意見交換をしていただきました。その後、各委員のご意見をいただき、修正した計画案に対して、パブリックコメントを実施しました。広く市民の皆さんから意見募集し、多くの意見をいただいたところです。

本日は、パブリックコメントによる意見を踏まえ、最終の確認を行いたいと思えます。その後、第1回審議会を受けた諮問に対する審議会による審議の結果を、市長に答申したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

スケジュール的にはタイトなところがありますので、ご協力をお願いします。

それでは、次第に沿って本日の議題を進めたいと思えます。

## 2 議題

### (1) 第6次知多市総合計画（案）について

[吉村会長]

議題の「(1) 第6次知多市総合計画（案）について」、事務局から説明してください。

[事務局]

【配付資料の確認】

【「第6次知多市総合計画（案）のパブリックコメント実施結果」について説明】 【資料1】

【「パブリックコメント資料からの修正内容」について説明】 【資料2】

【「第6次知多市総合計画（案）」について説明】 【資料3】

【「計画書デザインサンプルページ」について説明】 【資料4】

[吉村会長]

ありがとうございました。

パブリックコメントの結果とそれに基づく修正内容を踏まえた総合計画案、併せて最終的に描かれるイラストのイメージについて説明いただきました。

今の説明についてご意見いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。計画の内容については、概ねこの方向で良ければ良いですが、実現イメージのイラストを見るのは今回が初めてですので、気になるころがあればご意見をお願いします。

[富田委員]

このイラストは全ての項目に掲載されるのでしょうか。

[事務局]

ひとの未来、まちの未来、それぞれのイメージにイラストを載せることを検討しています。

今回はイラスト案をサンプルとしてお示ししており、これで決定というわけではなく、検討段階のものです。

[入江副会長]

これまでのたくさんの議論を踏まえて取りまとめていただき、事務局のご苦労も大きかったと思います。改めて感謝申し上げます。特に、基本構想をすっきりとまとめていただき、構成として分かりやすくなりました。また、計画書の表紙をめくって1枚目の「あたらしく、知多らしく。」の部分についても、説明を加えた方が良いのではないかと意見を申し上げたところ、説明を追加していただき、分かりやすくなりました。対応いただき、ありがとうございました。

[吉村会長]

基本的な計画案は皆さんのご意見や想いが反映されていると思いますし、この後の答申に併せた要望事項の中で私なりに整理したことを付けて提出したいと思います。

基本的には計画案の方向でまとめていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員からの異議はなし)

ありがとうございます。

## (2) 概要版について

[吉村会長]

事務局から「概要版」との説明がありましたが、これまでの議論の中でもありましたように、総合計画の概要、概略を示した冊子を作るというよりは、異なった形で市民の皆さんに分かりやすく伝えるという意味で、「概要版」ではなく「別冊」という位置付けで捉えています。

資料上は「概要版」となっていますが、事務局とは主旨は共有できていると思います。その前提で別冊について、事務局より説明をお願いします。

[事務局]

【「概要版について」の説明】 【資料5】

[吉村会長]

ありがとうございました。

知多市の次期総合計画は、「計画策定に当たって」にも書いてありますが、まちづくり、地域づくり、あるいは知多市に関わる全ての人が共有できるような公共的な、皆さんの計画にしていきたいということでした。

別冊についても、単なる縮刷版、概要版ではなく、多くの人にとってきっかけとなり、知多市のことを知りたくなるものにしていきたいという主旨で、審議会の中でもかなりの時間を割いて議論してきました。まだ実物は提示されていませんが、作成の主旨を確認させていただきたく、もう少しこうしたら良いのでは、という点など、皆さんのご意見をお聞かせください。

[久野委員]

活用方法についてですが、総合計画の議論にやや縁遠い方を巻き込んでいく、というこれまでの議論を考えると、配布先がやや狭いことが残念に感じます。

予算の都合などがあることは承知していますが、小中学生のお子さんをお持ちの家庭には必ず届けるなど、興味のある人が手に取るのではなく、いつの間にか手元にあり、うっかり読んだらおもしろかった、というような情報の動線があると良いと思いました。

[河村委員]

活用方法の配架、配布方法が弱い印象です。興味を持って手に取った方が自分で考えるという姿勢になります。

総合計画は理念的なものですが、具体的なのは個別の実施計画であり、そこで市民の想いをつないで

いくことを考えると、このような別冊をもとに市民の想いを紡ぎ続けるという姿勢で、積極的な市側からの出前講座や個別事業の担当課からの説明があり、市民の意見を反映するという姿勢があった方が、より関心を高め、意見を集約するには効果的と考えます。

小・中・高等学校に届けることもさることながら、知多市の未来を担う子どもたちが、想いを持って知多市のことを考えていく事業や出会いの場の創出なども仕掛けとして取り組んでいただきたいと思います。

#### [高山委員]

コンセプトに「子どもにも理解しやすいように」とありますが、何歳ぐらいを対象にしているのでしょうか。小学生高学年から中学生ぐらいの子どもが読んでくれるような読みやすい文章を目指すべきで、手に取ってみたら思わず読んでしまったというような内容になると良いと思います。

配布物の場合、読まずにスルーされてしまうことも多いので、目を通してもらう仕組みとして、学校の教材として利用してもらい、内容についてクラスで議論できる機会が1年に1回あっても良いのではないのでしょうか。そうすれば、家庭に持ち帰った際、家族内でも話し合うことができ、会話が弾むのではないかと思います。

また、予算の関係で難しいかもしれませんが、紙媒体だけでなく、先生が授業で使いやすい映像媒体もあると良いのではないのでしょうか。

#### [峯神委員]

子どもたちがいろいろなことに参加するのは良いことだと思います。

先日、中学生の子どもの文化祭に初めて参加しましたが、中学生が映像を使ったり、発表したりと、こんなにもいろいろなことができるのだと感動しました。

最終的には、授業の中で1、2時間でも取り組むことを目標にできると思いますが、その前段階として、例えば文化祭のような場で、生徒が生徒に向けて知多市のことを発表するような取組があっても良いのではないのでしょうか。

#### [吉川委員]

少し欲張りかもしれませんが、子どもたちに、ということであれば、学校の授業に必ず取り入れていただきたいと思います。子どもたちが、知多市をどうしていきたいのか、また、こうなってほしいという知多市の未来図、作文を書く授業を取り入れていただけると良いのではないのでしょうか。

#### [水内委員]

まさしく皆さんのおっしゃったとおりで、縮刷版でないことが大事だと思いますし、パブリックリレーションズのツールとして機能し、市の方から積極的に学校に届けることや市民ワークショップなどを継続していくためのツールになると良いと思いました。

また、新しい計画を市民に届けるだけでなく、継続的に進捗を報告していくことも重要だと考えています。

[入江副会長]

小中学校の授業で取り組んでいただくのは効果が高く、誰が授業を進めるのかといった際、全職員が総合計画の実施に向けて関与いただくことが進捗管理で重要になるので、例えば、企画情報課の職員ではなく原課の職員が出席し、全体像の説明は難しいかもしれませんが、担当業務について詳しく説明していただければ、職員にとっても、総合計画の理解や日々の業務の振り返りにつながり、意味のある研修になると思います。そして、子どもたちに市の取組を知ってもらうとともに、子どもたちにとっても、働いている方から直接お話しを聞ける機会になると思います。

このように、職員が外に出て説明いただくのは方法の一つだと思います。

[市野委員]

出し方ですが、ホームページに掲載する場合、紙媒体と同じものを掲載するのではなく、グラフィック的なものやアニメーション的なもの、もしくは学校現場で教材として使っている様子を映像として流すなど、映像として可視化されると伝わりやすいのではないかと思います。

ターゲットとする年齢層によって出し方が変わってくると思うので、小学生には漫画で伝えるなど、工夫が必要だと思います。

[吉村会長]

要望事項にも書かせていただいています、子どもだけでなく、知多市には多くの外国人が暮らしている観点から、外国人にも分かりやすいことが重要です。できる範囲内で結構ですので、総合計画について1～2枚の多言語資料を作るなどの工夫があると良いのではないのでしょうか。

次年度以降、様々な講座、研修などの機会の中で、総合計画を策定してきたということをシェアしていくことも重要であり、委員の皆さんにも是非、機会があれば話すフロンティアになっていただきたいと思います。今回、委員の皆さんの想いを踏まえた計画づくりをしてきましたので、私自身の思っていることと皆さんが思っておられることは相当部分共有できていて、誰がお話しされても、同じ想いを、個人の想いも含めてお話しただけと思っています。ですから、今回作った計画を様々な媒体・機会伝えていくとともに、これまで総合計画に全く関心がなかった人も含め、市民が総合計画を知るきっかけを委員の皆さんと作ることができれば、と思います。

本日の意見を踏まえ、別冊を作るだけでなく、総合計画の想いをどのように伝えていくのか、それを共有し、次のアクションにつなげていくことができるのか、ということは、これからの知多市の未来にとって大切な取組になると思っており、皆さんと一緒に取り組んでいきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

[事務局]

たくさんのご意見・アイデアをいただき、ありがとうございます。

事務局として現在考えていることをお話ししますと、ご意見いただきましたように、学校現場は大切だと思っていますので、どのような形で授業の中に組み込むことができるか、調整していきたいと思っています。電子データも作ってまいりますので、電子黒板といったツールも活用できるのではないかと考えています。

冊子の配布先につきましては、予算の兼ね合いもありますので、印刷部数を踏まえて考えてまいります。

また、小中学生のお話を多く頂きましたが、現在、知多翔洋高校との連携について模索しております。高校生に対して市職員が出前講座に出向く事業に来年度から取り組むことを検討しており、総合計画などのまちづくりの計画について取り上げていきたいと考えています。このような取組を通じて、未来を担う若い世代にメッセージを伝えてまいります。多言語化についても、関係部署と相談し、対応できることはしていきたいと考えております。

多くのご意見をいただき、ありがとうございました。

[吉村会長]

事務局には、皆さんから頂いた意見を参考にしながら検討を進めていただきたいと思います。また、委員の皆さんにもできることがあると思いますので、是非一緒になって取り組んでいただければと思います。

それでは、次に、議題の「(3) 計画推進について」、事務局から説明をお願いします。

### **(3) 計画推進について**

[事務局]

【「審議会委員コメント」について説明】 【資料6】

[吉村会長]

総合計画の冊子の最後に策定スケジュールや審議会メンバーの名簿を記載している例は一般的ですが、今回は皆さんの想いや皆さんが総合計画に基づく取組の一翼を担うことを見える化するためにコメントの作成をお願いしました。皆さんのご意見を読み、私自身もうれしく思っているところですし、今日はその取組の一步ではないかと思っています。

それではこれから、事前をお願いしていたように、委員の皆さんより1分程度で想いを改めて伺えればと思います。生田委員から、時計回りでお願いします。

[生田委員]

市民ワークショップ代表として第2回目から参加させていただきました。

私自身、市民活動として、知多市をいかに多くの人に知っていただくかという活動をしています。ここに記載しているように、自分の携わっている市民活動を通して知多市の魅力、まだまだ知らない発掘できるものを発信していきたいと考えています。

私には小学生の子どもがいますが、知多市のことを考えるという意識はないようなので、子どもも巻き込んで、知多市のことを深く考えられる子になってくれることを期待しつつ、活動していきたいと思っております。

[市野委員]

私は、20年ほど前に知多市へ引っ越してきました。まだまだ流入してくる人も多いと思います。

知多市で子育てできて良かった、これからも知多市に関わり続けたい、と思えるようなまちになるために、人と人の温かいコミュニケーションの場が常にあるような場所にしていきたいと思います。

[片山委員]

この会議に参加することで、いろいろな人に出会うことができました。回を重ねるごとに委員の皆さんの価値観の違いやいろいろな考えがあることを知り、改めて知多市がいろいろな人によって成り立っていることを感じました。

私自身も自分ができることを見つけ、楽しく暮らすことができるよう、児童福祉や地域に開かれた場所などを作りながら、自分ができることを精一杯やっていきたいと思います。

今日から私の事業所に中学生が職場体験に来ていますが、そういった子どもたちと関わる取組を通じながら、知多市を創る一人になっていきたいと思います。

[河村委員]

審議会の皆さんとの意見交換は貴重な時間で、日々、自分の成長、知多市の成長につながっていることを感じることができました。ありがとうございました。

コメントに書かせていただきましたが、共に生きるまちを考えたときに、支え方でなく、お互いに支え合うということにこだわっていきたいと考えています。それは全ての市民、全ての子どもがどのように知多市をデザインしていくか、ということになると思います。

その中で、総合計画や個別計画では、数値化される目標値に対する評価も大切ですが、市民の生活の中では、数値化されない大切な営みがなされているので、そうした市民の営みをしっかり知る、学ぶ、そういったことを紡ぐ、つなぐ学びの場というものを継続していくことで、総合計画が生きた計画になると思います。我々市民の責務であり、市の責務でもありますが、知多市を元気に盛り上げることを一緒に取り組んでいきたいと思います。

[久野委員]

私自身も含め、審議会の委員にとって、この計画が自分事になったと感じています。それは、自発的な想いがある方が揃っているから、ということもありますが、それだけではなかったと思います。グループに分かれて話し合うことや、こうして最後の審議会でも、一人ずつが必ず話す、という吉村会長の強い想いや仕掛けと、上手くいかなくても想いを持って進めることで、小さなことがだんだんと大きな渦になっていくということを感じた2年間でした。

引き続き、計画の進捗に関わっていければと考えています。

[近藤委員]

2年間たいへんお世話になりました。

我々委員は言いつ放しのままでしたが、事務局の方はまとめるのに大変だったと思います。

私の専門は中小企業や農業従事者の支援ですので、地域の振興のため、起業や事業承継に関して市と協力しながら取り組んでいきたいと思っています。

組織が大きくなるとセクト意識になってしまい、自分に与えられたミッションとしてK P Iの数値を



達成することを目的としがちになります。K P I の数値はマイルストーンに過ぎないので、その達成が課の目標にならないようにしていただきたいと思います。

今年度より私は長野に転勤しており、長野から来ています。先日の台風 19 号で感じたことですが、インフラの整備は大切であるものの、想定外の災害はいつ来るか分かりません。インフラ整備はどこかで限界がきます。ある地域では、避難勧告などが出る前にかかなりの住民が自主的に避難して、被害を最小限に留めた、という例もありました。ハード面の防災対策だけでなく、ソフト面での対策にも取り組んでいただければ、と思います。

#### [榊原委員]

最初、事務局からのご説明があったときには、理想の未来を描いてほしいとのことでした。市民の幸せが中心にあった表を見て、どのように市民の幸せを見だしていくかを考えたとき、市民の健康が基盤にあって幸せにつながっていくという観点から、いろいろな発言をさせていただきました。

食と農、そして緑園都市の緑にも関わる仕事をしているので、これからも市民の健康を支えていければ良いと考えています。

総合計画は総花的で良いと思っていて、その中で少し尖ったところを一つひとつ皆で想いをフォローできればと考えています。

自分自身、審議会を通じて成長できて刺激になり、ありがとうございました。

#### [高山委員]

2 年間はあっという間でした。傍聴者の方は発言できず、どんな気持ちで座っておられるかと考えていましたが、委員席は意外と楽しかったです。異なるジャンルの方がいろいろな意見をされ、こんな考えがあるのかという気づきや、同じ想いだというものもあり、まちづくりは改めて楽しいと思いました。傍聴者の方には、市民ワークショップに是非参加いただいて、発言者側に入っていただくと、知多市も活性化しますし、ご自身も楽しめるのではないかと思います。

総合計画のサブタイトルが「梅香る わたしたちの緑園都市」ですが、私も緑園都市を目指したい気持ちがすごく強いです。コメントに耕作放棄地と竹藪が目立つと書きましたが、それを里山に戻していきたいと思っています。里山は積極的に人の手が入っているところであり、昔は松林に松茸が生えていましたが、今は放置してしまったので松茸が生えなくなっています。心地良い緑を取り戻すため、これから私の取り組みたい知多市に沿った緑園都市にしていく活動として、自分の関わっている土地の竹藪を切って緑に戻しています。来年からは、竹藪や里山に関わっていくワークショップで、市民に参加いただくことを予定していますので、皆さんにも是非参加をお願いします。

#### [竹内（徳）委員]

観光協会の立場で出席させていただきましたが、岡田街並保存会の会長としての思いが強く、地元のありかたなどに主に意識がなくなってしまいました。コメントにも書きましたが、隣同士がお互いに分かり合っているまちが私の中では理想となっています。子どもの頃から隣近所で遊んで、おじさん、おばさんに叱られた、そのようなまちであることが大切ではないでしょうか。コミュニティの役や防災関係にも携わりましたが、隣同士を知り合っていることで、想定外のことが生じた際に、大きな力を発揮

すると思っています。

観光の面から申し上げますと、知多市の様々なところで文化活動が行われていると思いますが、それをどのように掘り起こし、つなげ、一つのものにしていくかが大切ではないでしょうか。行政が相当関わって先導していかないと上手くいかないと思います。先日、津島市を視察しましたが、まちの整備に行政が相当力を入れ、都市計画や市民活動など連携して作り上げている事例を見ると、まだまだ取り組むことはたくさんあると思います。隣同士や地域が上手く連携できるようなまちが将来的に強いまちになるとと思っています。

2年間、様々な立場の方のご意見をたくさん聞かせていただきました。特に会長、副会長は相当一生懸命やっていただきました。これからもお役に立つよう取り組んでいきたいです。

#### [富田委員]

私は市民ワークショップ代表として参加させていただき、一市民として、素直な想いを発言させていただきました。皆さんのお話しが刺激的で、参加できて良かったと思っています。

私が書いたコメントの後半に関わる一つのエピソードがあります。ある日、近所の子どもたちがハロウィーンに回ってくるという連絡がありました。すごく楽しみにして、私も仮装して玄関で待ち構えていました。自転車が止まる音がして、外から、ここは誰々の家だから行っても大丈夫だよ、と言っている声が聞こえてきて、家に来てくれ、私も玄関に出てお菓子を配り、一緒に写真を撮りました。そのことがすごく楽しく、人と関わっていくこと、まちづくりに関わっていくことは、個々の関係から始まり、誰々の友達は誰々という形で名前を覚え、知り合いになり、こうやって人とつながっていくのだと感じ、この楽しい気持ちをコメントに載せました。

#### [水内委員]

広義の意味でのデザインという立場で参加させていただきました。

今の時代、本当に正直に生きることは難しいと思うのですが、審議会の皆さんのご意見や市内の豊かな活動を見ると、すごくポテンシャルが高いまちであることを感じました。

総合計画で新しい未来を創るということになっていますが、突然新しいことを始めるわけではなく、総合計画が様々な意味で知多市の強みが発揮される補助的なものになり、かつ自分たちの暮らしの魅力や良さが確認できるツールになると良いと思います。

私は、知多市の様々なポテンシャルを感じていますので、いろいろな機会でご一緒して応援できればと思っています。

#### [峯神委員]

2年間参加させていただき、ありがとうございます。私自身も非常に勉強になりました。

この話をいただいて、意識的に知多市の情報を自分で探すようになりました。意識的に始めることで、様々なつながりが生じ、先日は、都市計画課のワークショップに参加させていただきました。また、子どもと一緒に競技かるたをやっていますが、もっと楽しくし、広めていくにはどうしたら良いか考えたところ、辿りついたのが市野委員のところ、ボランティア団体の紹介をいただきました。少し意識すると、点と点だったものが線になってつながっていくことを実感しており、これが面になっていくので

はないかと期待しています。

先ほどから皆さんもお話しされていますように、知多市を創っていく上では、子どもたちの力が大きいのかなというところがあります。この場にいる皆さんは知多市を創っていく意識が高いメンバーであり、職員の方も意識が高いと思いますので、そこから市民、子どもたちに想いが伝わり、点と点がつながって線になり、面になり、みんなが自分事として知多市のまちづくりに関わっていけるような未来が見えると良いと思います。自分事として捉えていれば、そういうことにつながっていくと感じていますので、私もそういったところでお手伝いしたいと思っています。

#### [吉川委員]

この審議会に参加できて、すごく勉強になりました。様々な分野の人たちからのお話を聞いたことで、頭の中で凝り固まりかけていたことを、もう少しゆったりとした考え方で臨んでいけば良いという思いになりました。

教育に長年携わってきましたが、人づくりはたいへん難しいことを痛切に感じています。人は一人では生きていけなくて、周りの人たちによって生かされていると感じるので、全体で動かなければ人は変わらないし、まちは変わらないと思っています。

特に、コメントでは、つながり、やさしさ、強さ、おもしろさ、おもしろさは楽しいということもありますが、笑いのある動きも大切ではないかと思い、書かせていただきました。

最後に、ゆるゆるした歩みについては、決して一つのことで人は変わるわけではありません。長く長く続けなければいけない、人の一生であり、知多市に住んで良かった、知多市がふるさとである、と言ってもらえるようなまちづくりをしていきたいですし、私も参加していきたいと思っています。

#### [入江副会長]

様々な自治体で審議会に関わらせていただきましたが、これほど活発な議論がある審議会は初めてで、よくぞこの委員の皆さんの人選があった、という思いです。それぞれの立場から、知多のまちづくりを一生懸命考えていらっしゃる、生活に根ざした意見が出るということで、本当に勉強になりました。分科会のような形で議論を進めましたが、途中から私は、これは取りまとめなくても良いと思いました。皆さんの意見をそのままお伝えすれば、私が抽象的な言葉で取りまとめなくても、ストレートに皆さんの想いが表れていく、良い審議会になったと思います。

コメントにも書きましたが、市民の方こそ市の財産だと思います。これほど活発に活動する市民の方がいらっしゃる市のポテンシャルの高さを実感しました。皆さん自身が主役ですので、審議会が終わった後、まちづくりのキーパーソンになっていただきたいと思っています。皆さん自身が総合計画を推進する核となり、いろいろなところで宣伝部長になっていただき、一人でも多くの方に興味を持ってもらうようにしていただきたいと思っています。その際、まちづくりは楽しく、が基本だと思います。自身が楽しみ、多くの方に想いを伝えていただければと思います。

#### [吉村会長]

皆さん本当にありがとうございました。

何人かの方が自分たちは言いつ放しだったと言われましたが、言い換えれば、それぞれの想いをしっ

かり言えたことが大事であり、それが間違っているということではなく、いろいろな考えがある中で、それを尊重・理解しつつ、その中でも一つの共通事項、同じような目標に向かって考えていくことが重要ではないかと考えています。目標に向かっていく方法についても、それぞれの強みを生かし、違った方法で進めていくということが大切になると思いました。

この審議会の進行がある種チャレンジであった側面は正直ありますし、第8回がこのように迎えられたことも、第1回の際は想像できませんでした。私自身は楽観的なところがあり、多くの方が知多市にいらっしゃる前提で、そのような人たちの想いが広がったり、互いに知ることによって、それが力になることを信じて、このような形で進めてきました。

水内委員がポテンシャルと発言されていましたが、それぞれの可能性が上手く顕在化し、発揮できる状況をどのように作ることができるかという点で、総合計画がその一つのツールになると良いと改めて思いました。

想いの共有はここまでとさせていただき、想いを踏まえて、皆さん自身も行政も含め、計画を実現するためにどのようなことができるかを一緒に考えていきたいと思えます。

### 3 答申

[吉村会長]

この後、休憩を挟んで答申となりますが、答申書の内容について、皆さんと共に確認したいと思えます。

答申書に関しては、計画書の本体となる、ということもありますが、審議会での議論の経緯や検討の状況を踏まえ、審議結果と併せて要望を行いたいと思えます。

「資料7」でお示ししているような内容を盛り込みたいと考えており、予め委員の皆さんには内容を確認いただいていると思えますが、改めてこの場で確認させていただきたいと思えます。

1番目として、市制施行以来掲げてきた「緑園都市」に向けたこれまでの取組による成果と課題をしっかりと踏まえ、引き続き「緑園都市」の魅力を高めるよう努めてください、と書いてあります。議論の中で、緑園都市に関するこれまでの取組の中でいろいろな課題があるということでしたので、成果もあれば課題もあるということもしっかり踏まえながら、という主旨で整理しています。

2番目ですが、SDGsについてはパブリックコメントの中で分かりにくいという意見があり、皆さんの中にも同様のご意見があったと思えます。SDGsの基本理念の中で、誰一人取り残さない持続可能で包摂性のある社会の実現に向け、というものがすごく大事だと思っておりますので、改めてここで確認したいということです。誰もが自分らしく暮らし、声をあげることができ、そこから関わりあいが生まれるように、まちづくりを進めてほしい、ということで2番目を整理しています。

3番目ですが、教育に関しても、いろいろな形で議論が盛り上がったと思えます。正直、計画書の中で書いていなかったところもあると思え、補足説明も兼ねて書いております。知多市の未来を担う子どもたちを地域全体で育むため、知多市のもつ豊かな自然や活発な市民活動などの「知多らしさ」を活かした取組を是非積極的に進めてほしい、ということでまとめています。計画書本体にはここまで書いていないところがありますが、皆さんの議論の中でありましたように、学校ではないところでいろいろな現場があり、その中で学び合いが大切であるということに記載しています。

4番目では、理想の未来の実現には、今回のメンバーのように多様な主体の連携及び協働が不可欠で

あり、その中で市が果たす役割があるのではないかと、ということ。対話を重ね、協働の取組を進めていただきたいということ。また、声を上げにくい、気づきにくい人も多いと思いますので、きっかけづくりや主体性を育む取組を是非進めてほしいということを書いています。

5番目、計画の推進に当たっては、入江副会長が何度も指摘されていたように、組織内連携を図り、分野横断的に是非取り組んでほしいということ。また、基本計画と実施計画の一貫性を確保し、10年間で理想の未来に近づけるための進行管理を行い、実行性を高めていただきたいということを書いています。

近藤委員からKPIの考え方に関するお話もありましたが、しっかりと限界も含めてどのように進行管理していくかに留意していただきたいと思います。また、社会の変化、それも相当の変化が見られるため、固定的だけでなく、時には機動的に考えることも必要になると考え、整理しています。

6番目では、先ほどの議論と重なりますが、本計画が多くの市民と共にまちを創るための行動指針となるよう、理解しやすい冊子を作成するなど、計画の内容を子どもたちや外国人市民にも分かりやすく伝えるよう努めてほしいということを書いています。

これまでの議論を踏まえ、是非確認、改めて共有したいことを文書としています。この内容を答申書に盛り込みたいと考えていますが、ご賛同いただける場合は、拍手していただけますか。

(会場内拍手)

皆さんからご賛同いただきましたので、答申書を作成させていただきたいと思います。

印刷等の都合があり、15分程度休憩とさせていただきたいと思いますので、再開時間等を含めて、事務局からご案内いただけますか。

[事務局]

11時35分より再開させていただきます。その間に市長にも入室いただきます。

[吉村会長]

答申は、私と入江副会長より行いますので、よろしくお願いします。

(休憩)

[吉村会長]

それでは会議を再開させていただきます。

昨年5月28日に第1回総合計画審議会を開催し、総合計画の策定について、本審議会に諮問をいただきました。これまで合計8回の審議会において活発な議論を行い、委員一人ひとりの想いを受け、ここに審議結果として、第6次知多市総合計画に対する答申が取りまとめられました。

事務局より朗読をよろしくお願いします。

[事務局]

【「第6次知多市総合計画の策定について（答申）」読み上げ】

[吉村会長]

答申の内容に関しては、委員の皆さんの想いを受け、入江副会長とも相談してきたものです。

知多市は、これまでの緑園都市に向けた取組の成果と課題をしっかり踏まえ、知多らしさを十二分に発揮しながら、これからのまちづくりを進めていただきたいという想いがあります。

併せて、SDGsの基本理念にある、誰一人取り残さないことを是非とも大事にしていきたいという想い、子どもたちがこれからの未来を担っていくことから、そのことを知多らしさを活かしながら地域全体で進めていきたいという想いがあります。

計画の推進に関しては、入江副会長からも補足的に説明をお願いします。

[入江副会長]

行政の長である市長に対して、改めて計画の推進に関してお願いを申し上げたいと思います。

計画を答申させていただきますが、計画はできて終わりではなく、ここからがスタートです。とりわけ、今回の総合計画は分野横断的なテーマ、喫緊の課題に重点的に取り組むことがポイントになっています。これまでの従来型組織ではなく、組織内連携を十分に図り、分野横断的に取り組んでいただくことをお願いしたいと思います。

今回の答申は、基本構想と基本計画に対するものですが、職員の通常業務の中では、実施計画と上位計画との乖離が生じることも考えられますので、一貫性をもって実行していただきたいと思います。

また、10年間という長いスパンでの計画ですので、進行管理が大変重要になってくると思います。企画情報課が中心となって計画をまとめていただきましたが、これからは職員総出で計画を使いこなすことを念頭においていただき、社会の変化等が生じたら柔軟に修正をしつつ、10年後の理想の形に近づけることをお願いしたいと思います。

また、進行管理について、職員総出で、ということをお願いしましたが、そこに市民の参加を是非お願いしたいと思います。審議会メンバーの市民の方々も、大変活発な議論を頂き、まちづくりに対する熱い想いをお持ちでした。こういう方々を核として、市民がまちづくりの主役ですので、市民の参加、市民の目でのチェック、進行管理を是非お願いしたいと思います。

[吉村会長]

それでは答申させていただきます。

(吉村会長より宮島市長へ答申書を手交)

[宮島市長]

吉村会長より答申をいただきましたので、一言御礼のご挨拶を申し上げます。

委員の皆様方には、大変お忙しい中、審議会を8回も重ねていただき、ご審議いただきました。知多市が明るい未来の都市となるようにという想いで審議していただきましたので、これから私どもはしっ

かりと取り組んでまいりたいと思います。

入江副会長がおっしゃったように、まちづくりは市民が中心になって取り組むものであり、これから住む人たちが自分たちのまちをどのように住みやすいまちにしていきたいかが大切なことだと思っています。そのためには、いろいろな場面や場所で市民の皆様の声を聞きながら、計画にしっかりと、知多市らしさを出せるように、職員と共に全力投球で、皆様が知多市の将来のことを真剣にお考えいただいた大切な答申に対して、取り組んでいきたいと考えています。

皆様、本当にありがとうございました。

[吉村会長]

どうもありがとうございました。

それでは、次第の「その他」について、事務局からお願いします。

#### 4 その他

[事務局]

今後の予定を申し上げます。

本日取りまとめていただいた計画案につきましては、来週月曜日、11月18日に開催する庁内での総合計画策定本部会議において、議案として提出する前の最終確認を行い、基本構想を12月の知多市議会に議案として上程した後、審議を頂く予定です。

議会でご議決いただきますと、その後、3月までに計画書と概要版を印刷、製本し、広く市民にお知らせする予定をしています。

[吉村会長]

以上をもちまして、本審議会の全ての議事を終了いたします。

なお、今日は終わりの日ではなく、未来に向けた始まりの日になります。皆さんと共にできることに一緒に取り組んでいきたいと思っていますので、何卒よろしくをお願いします。

8回という長い期間にわたり、皆様のご協力なくしては、ここまで至らなかったと思っています。今後ともよろしくをお願いします。本当にどうもありがとうございました。

以上